

広報ちゅうぎん

1月16日発行
編集者：安里

ちゅうぎん病院 年始の言葉



あけましておめでとーございませす。

皆様、どのようなお正月を迎えられましたか？ 昨年は東日本大震災によって日本の皆が深い悲しみに沈みました。年を改めまして、一日も早く元気な日本を取り戻せるよう私達に出来ることは何か？を一人一人が考え少しずつ行動に移していきませす。

当院でも昨年から延長ではなく更に患者さんからみて、より分かりやすく、安心できる医療を心掛けて参りたいと思ひませす。超高齢化社会により今後益々医療・介護のニーズは高まませす。リハビリテーション専門病院として「入院リハビリテーションの充実」と退院直後の「外来、訪問リハビリテーションの充実」および「通所リハビリテーションの充実」を掲げて地域医療に貢献したいと思ひませす。

今年も皆様が健やかな生活を送られますよう、職員一同祈念いたしてございませす。

平成二十四年 元旦

ちゅうぎん病院

院長 田中 正一

新年を迎えて

看護部長 米澤真佐江

平成二十四年 辰年を迎えることができましたことに感謝し新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は東日本大震災という未曾有の出来事が起こりました。世界中の人々が心を傷め、自然災害の恐ろしさを改めて痛感すると共に、一日も早い復興をお祈り申し上げます。そして家族と共に普通に生活ができることに幸せをかみしめた年でもありました。世界で起こっている、自然災害を忘れず命と絆を大事にし、立ち上がっていく人々になりたいものです。

又日本中に夢を抱かせた なでしこジャパン の活躍は目覚ましいものがあり、皆に勇気とやれば出来るということを示した出来事でもありました。

ちゅうぎん病院におきましては、田中新院長先生をお迎えしリハビリ専門病院として地域に貢献する医療を新たに目指して日々邁進してございませす。

その中で、人々の生命を看護する看護職は昔と異なり治療方法や医療機器の取り扱い方法など新しい知識・技術の習得が求められてございませす。教育内容も専門コースから四年生大学へと教育は進んでございませす。

しかしどんなに医療が発達しても看護職として守らなければならないのは、看護が人間を対象にしているということございませす。

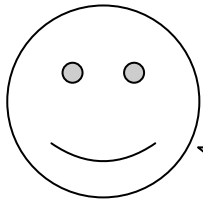
看護業務は、患者さんの療養上の世話と診療の補助業務です。まず、臨床教育のスタートとして知識や技術、職場のルールなど、職業人としてのマナー、接し方をしっかり身につけていけるよう指導・教育を行いたいと思ひませす。「やってみせ、言っただけで、させて見せ、ほめてやらねば人は動かじ」と有名な言葉があるようにお互いに良いコミュニケーション・相手を思いやる気持ち・接遇を身に付け看護の質の向上につなげたいと改めて考えるようになりました。

看護師として初心に戻り、成長できる環境づくり・明るく、元気で、素直な人を目指し、看護職を育成していく辰年にしたいと思ひませす。

本年も皆様にとつて素敵な年になりますよう祈願いたします。今後ともご指導ご鞭撻の程宜しくお願ひいたします。

ちゅうざん病院 訪問リハビリテーション～訪問リハビリ利用者の声を紹介します～

○回復期病院から自宅に退院された後、リハビリ継続の希望があり依頼があった方



言葉のリハビリをしたい！良くなりたい！！

機能訓練の成績が向上し、それができるようになる事で
ちゃんと話せるようになるはず。

⇒明確な目標はなく、リハビリをする事にこだわっている状況

訪問リハビリ介入前の状況

会話は言葉の誤りにより、つじつまの合わないことがほとんど。コミュニケーションが取りづらい。
交流の幅が狭い。→関わるのは家族、デイサービススタッフ(リハビリ重視であり利用者との交流はない)、訪問リハビリスタッフのみ。実用的なコミュニケーション場面が限られている。

在宅復帰・訪問リハビリ介入

訪問リハビリが行ったこと

- * 機能面へ、継続したアプローチ
- * 時間をかけ、他者とコミュニケーションを図る事の大切さを伝達
- * デイサービス職員と連携を図り、職員や他の利用者との交流の促し等、話す機会を設けてもらえるよう依頼

- * 言葉の言い誤りが減り、家族やスタッフとの会話のやり取りが成立しやすくなっている
- * デイサービスの利用者と本人との間でやり取りがあったこと、友人が自宅に来て交流していることを、自発的に伝えるようになる
- * また、元々得意である歌の披露も積極的に行うようになり、デイサービスでの過ごし方にも変化が見られている
- * 病前仕事として行っていたパソコンの作業にも挑戦している



在宅生活で困っている点、在宅生活に向けて不安な点があれば、一緒に検討していきますので病院スタッフへお気軽にご相談ください(´▽`)♪。+°